

# まちづくり

No. 108

広島市中区社会福祉協議会  
令和5年8月 発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階  
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



中区社協HP



Facebook

吉島  
学区

## 地区社協活動拠点活性化 支援事業に取り組んでいます！



広島市社協では令和3年度より、地区社協活動拠点活性化支援事業を実施しています。

この事業は、地区社協拠点への配置スタッフに対する謝礼や拠点体制整備経費を助成し、地域の拠点・窓口機能を強化することで、住民同士のつながりや主体的な活動を促し、様々な課題を解決できるまちづくりを目指すものです。

令和5年7月現在、中区で6地区社協が地区社協活動拠点活性化支援事業に取り組まれています。今回は、令和5年4月から地区社協活動拠点活性化支援事業に取り組まれている、吉島学区社会福祉協議会の平本祐二会長、岡山ユリコ副会長、尾上真弓地域福祉推進委員の3人にお話しを伺いました。



左から 岡山副会長、平本会長、尾上委員

### ●この事業に取り組んだきっかけは何ですか？

**平本会長：**以前から地域の相談窓口として、拠点の機能強化の必要性を感じており、最初に事業説明を聞いた時から、取り組むべきものだと考えていました。コロナ禍等の影響もあり準備に時間がかかったものの、今年度からようやく開始することができました。

### ●どのくらいの件数の相談が入っていますか？

**平本会長：**地域の方が立ち寄りやすく、関係機関等との関わりも持ちやすいよう、事業開始に合わせて拠点開設日を週1日から週5日に増やしました。6月の相談は3件ほどでしたが、子育て相談など少しずつ件数が増えてきています。

**尾上委員：**来所や相談はまだ少ないですが、集会所の利用者が立ち寄られることもあり、こうした機会も含めて、地域への周知も少しずつ進んでいると感じます。

### ●これからの目標はありますか？

**岡山副会長：**まずはこの取り組みを続けながら、拠点を地域に広く知ってもらうことを進めたいです。それから徐々に、地域活動の促進と拡大につなげていけるように、拠点の継続的な運営を目指していきたいと思います。

相談以外の雑談等でも構いません。  
ぜひお立ち寄りください。

**場 所** 吉島集会所 (中区吉島西 3 丁目 2-10)

**相談日時** 毎週月～金曜 10:00～12:00

## 神崎学区の地域資源マップが完成しました♪

神崎学区社会福祉協議会では、令和3年から、  
**【地域にある社会資源を再確認し街づくりの材料にする】**  
**【地域資源を知ることでもっと神崎を好きになってもらう】**  
 上記を目的として、地域資源マップの作成に取り組み、完成しました。

### 地域福祉推進委員の松尾さんにお話を伺いました♪

**Q.マップ作成にあたり大事にしていたことは何ですか？**

**A.**見る人の立場に立って、見やすく、分かりやすいマップとなるように心がけました。

**Q.作成後に地域から反響はありましたか？**

**A.**小さなお子さんがおられる母親から、マップを見て、初めて保育園の場所を知ることができた、と、お礼を言われました。

**Q.今後のマップの活用について教えてください。**

**A.**マップを見てくださった皆様にいただいたご意見を反映させて、皆様が求めるマップに近づけていきたいです。



※実物はA3用紙の両面

第19回

あなたのまちの

元気さん紹介

今回の元気さん

生活支援員  
寺坂 愛子さん



### どのような活動をされていますか？

認知症や知的障がい、精神障がいにより判断能力が不十分なため、日常生活を営む上で不安のある方への支援をしています。安心できるようにお宅へ訪問してお話を聴いたり、公共料金や医療費の支払いの手続きなどを行っています。

### 今の活動を始められたきっかけはなんですか？

友達からの紹介で始めました。訪問で体を動かすことや人と話すのが好きな所が活動に向いていると思います。自分のためにやっていることも大切にしています。

### 心がけていることはありますか？

一人暮らしでさみしい、外出が難しく来て所を待って

利用者に“元気？”“気をつけてね。”と優しい言葉をかけています。利用者さんから“あなたも元気でね。”と励まし合っています。ボランティア中に限らず普段から真心を込めることを心がけています。

### 活動をしていて難しく感じたことを教えてください。

利用者さんから本来の仕事以外のことをお願いされた時、本当はもっとしてあげたいものの、応えてあげられずもどかしい気持ちになります。

### 最後に、今年の目標や抱負をお願いします！

ケガや病気をせず体力が落ちないように元気で居続けることです。

ありがとうございました。

## 「社会福祉協議会」ってなあ～に？



社会福祉協議会って聞いたことはありますか？社協(しゃきょう)とも呼ばれています。

中区社会福祉協議会について、ちょっとだけ、どんなことをしている団体が紹介します。

### ●みんなが住んでいる「地域」の福祉を考えます。

行政とは違う民間の立場で、インフォーマル(非制度的)な視点で、みんなが暮らしやすい地域を創っていくための事業を展開しています。

**【例えば】**高齢者、障がい者、子育て世帯等の地域での見守り活動の推進や、高齢者がいきいきと外出できるように「ふれあいいきいきサロン」の設置支援等を行っています。

### ●ボランティアについて知ってもらい、ボランティアを増やします。

「福祉のボランティアといえば社協」と言ってもらえるように、福祉のボランティアの啓発と育成を行っています。

**【例えば】**高齢者施設での話し相手や、障がい児の外出行事への付き添い、地域の祭りのお手伝いや、グループに所属してのボランティア等、様々な福祉分野でのボランティア活動の

場を提案しています。最近では災害時のボランティア活動も有名ですね。

### ●様々な福祉団体の活動を支援しています。

地域には様々な当事者団体(「認知症の人と家族の会」、「手をつなぐ育成会」「母子寡婦福祉連合会」など)があり、それぞれの団体の行事支援等を行っています。

**【例えば】**手をつなぐ育成会中区支部とともに、バスハイクやクリスマス会といった行事のボランティア調整等の支援を行っています。

### ●様々な理由で困っておられる方の相談に乗り、支援しています。

生活に困窮している世帯や心配事を抱えておられる方にとつての相談窓口となるよう「心配事相談所」を開設しています。

**【例えば】**金銭面の相談を通じて、貸付のご案内を行ったり、判断力が低下し、一人暮らしが困難となった方へは金銭管理等を支援するサービスを紹介しています。

これからも中区社会福祉協議会をよろしく願います。

第25回

## なかくボランティアまつり ～ この街が好き。～

ボランティア・障がい児者・地域の交流を目的として開催してきた「なかくボランティアまつり」も、今年で25回目を迎えます。ご家族やお友達とお誘い合わせの上、是非遊びにきてください♪

**とき** 令和5年10月28日(土)  
10:00～14:30(予定)

**ところ** 中区地域福祉センター  
(中区大手町4-1-1 大手町平和ビル)

### バザー物品の提供をお願いします

タオル、石鹸、洗剤、食器(箱に入ったもの)、カバン、日用雑貨 など

- ・未使用のものをお願いします。古着はご遠慮願います。
- ・食品については賞味期限等の確認のため事前にお問い合わせください。

※お問い合わせは、平日8:30～17:15までをお願いします。  
※バザーの収益は、ボランティア活動の推進のため、大切に使用させていただきます。  
※詳しくは、p4の問い合わせ先までご連絡ください。

### コーナーの紹介

- ▶ **福祉体験コーナー**  
手話・点字・音訳・要約筆記・車いす
- ▶ **喫茶コーナー**  
軽食・コーヒー販売など
- ▶ **共同募金・あそびコーナー**  
ゲームに挑戦して景品をもらおう!
- ▶ **工作コーナー**  
手作り小物を作ろう!
- ▶ **健康づくりコーナー**  
血圧・体脂肪測定など

- ▶ **バザーコーナー**  
日用雑貨等の販売があります。掘り出し物があるかも!?
- ▶ **作業所展示販売コーナー**  
さをり織り、フェルト製品、小物など
- ▶ **障がいがある方への相談コーナー**  
お気軽にご相談ください。
- ▶ **ステージ発表**  
作業所の発表など  
その他は出演依頼中です。



## まつりを一緒に盛り上げてくれるボランティアを募集中

まつり前日の準備、当日に各コーナーのお手伝いをしていただける方を募集しています。参加は可能な時間帯でかまいません。ボランティア活動へのきっかけとして、まつりに参加してみませんか? 詳しくは、p4の問い合わせ先までご連絡ください。

## 広島県手をつなぐ育成会

## ♡ひろしま♡あび隊 紹介

わかりやすく、楽しく参加できる知的障がい者疑似体験を通して、1人でも多くの方々に知的障がい者(児)に対する正しい理解を広めることを目的に活動しています。

この活動をしている理由は、知的障がい者(児)が地域で安心して暮らしていくためには、法律の整備だけではなく、知的障がい者(児)の正しい理解をする知的障がい者疑似体験プログラムを通して、一層の「こころのバリアフリー」を進めるためです。この体験を通じて、少しでも「言葉が通じない」「わからない」ことの大変さを理解するために活動しています。

2023年6月30日  
トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校での活動の様子



▲「あび」という言葉だけで、伝える体験

### プログラム

- 1 「あび王国へようこそ」(疑似体験)
- 2 体験「言葉を絵にしてみよう」、「視覚・聴覚・触覚体験」
- 3 「わかってほしい!知的・発達障がい」  
(パワーポイントを使用した説明。)
- 4 保護者の話(我が子の様子、親の思いや願いの話)
- 5 グループワーク(グループにわかれて話し合い)

### 講座を受けた人の感想

- 疑似体験を通じて、伝えたくても伝わらないというもどかしい気持ちを理解することができた。
- 実際に体験することで、表現することの難しさや音の不快感を理解することができた。
- できないわけではなく、1人1人性格があるため、その人に合った関わり方をしていくことが大切だとわかった。



▲ 触感体験  
指先の使い方が難しいことの体験。



▲ グループワーク 疑似体験を通じての感想や今後の支援について話し合う様子。

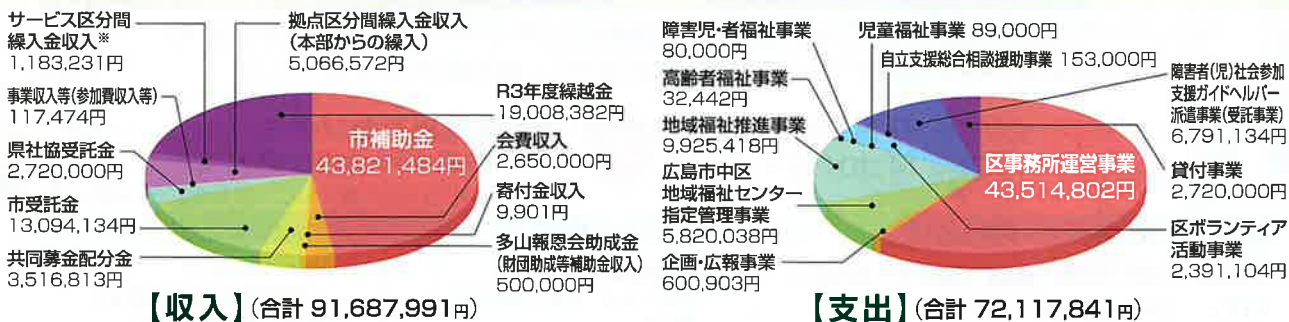
## 中区社協正副会長が新体制となりました

中区社協運営委員の任期満了に伴う改選により、令和5年7月から中区社協正副会長が新体制となりました。

再任となる和田 高明会長(幟町地区社協会長)、徳弘 親利副会長(基町地区社協会長)、中田 道夫副会長(本川地区社協会長)に、新任の江郷 裕副会長(中区民生委員児童委員協議会会長)を迎え、副会長増員による体制強化を図っています。

これを機に、社協活動と民生委員活動の連携を更に深め、地域共生社会に向けた取り組みを一層進めて参ります。

## 広島市中区社会福祉協議会 令和4年度 決算



次年度への繰越 ▶ 19,570,150円

## 広島市中区社会福祉協議会 令和5年度 予算



## 賛助会員にご加入お願いいたします ~地域の福祉活動費として還元されます~

本会では住み慣れた地域で安心して暮らしていける「福祉のまちづくり」の実現に取り組んでいます。

お寄せいただきました賛助会費のうち、2分の1は地区(学区)社協が行っている「ふれあい・いきいきサロン」などの地域に密着した活動に、残りの2分の1は本会が行っているボランティア活動推進などの福祉事業に活用しています。

一口(年間)  
会費 **3,000円**

**加入方法** 個人、団体、企業様などなだでもご加入いただけます。手数料不要(現金払込の場合は110円要)の払込取扱票がありますので、お住まいの地区の社協役員または、本会(249-3114)までご連絡をお願いいたします。

令和4年度 賛助会費実績額  
(令和5年3月31日現在) **771口 2,350,000円**

昨年度も皆さまのご協力とご理解により、多くの方にご加入いただきました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

あたたかいご寄附を  
ありがとうございました

皆さまのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切にさせていただきます。

【物品寄附】 匿名1名(車椅子1台)

(令和5年2月1日~令和5年6月30日現在)

広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター  
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階  
TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

